

短期プログラム 参加報告書

所属：工学部

プログラム名：Language and Culture 2019 Summer (University of Regina)

留学期間：2019/08/10-2019/08/31

8月10日から31日までの3週間、カナダ・サスカチュワン州・レジャイナ大学のESLプログラムに参加しました。私は往復の飛行機は一人だったため、その点に若干の不安はありましたが、現地ではホストファミリーやレジャイナ大学のサポートにより、特段問題なく生活することができました。

レジャイナは小さな町であるため、少し退屈に思うこともありましたが、ホストファミリーと湖畔を散歩したり、野生のウサギやギースを見つけて楽しんだり、サルサを踊ったり、日本での生活とは異なる時間を過ごすことができ、貴重な経験になりました。また、週末には農場の見学や隣町の観光など複数のアクティビティが用意されており、短期間で多くの経験をできたことが短期プログラムとしてよかったと思います。

授業は初日のテスト結果によって分けられたクラス毎に受けており、同じ期間にメキシコからの学生もプログラムに参加していたため、私のクラスは日本の学生とメキシコの学生がちょうど半分ずつの人数でした。授業においては、簡単なディスカッションを行うことが多く、その中でカナダの文化について知るのみでなく、メキシコの文化について知ることができた点が私にとって大変刺激的でした。互いの国の歌を教え合って、クラス全員で歌うことや、折り紙をみんなで折れたことがとても楽しかったです。また、昼食を一緒に食べることや、放課後のアクティビティと一緒に参加することで、日本の他の大学から来た学生や、メキシコの学生と交流を深められたことが最大の思い出です。

授業の内容的には、初日のテストが主に文法とリスニングのみだったこともあり、特にスピーキング能力で周りとの差を感じる事が多く、ディスカッションには十分に参加できないことが多々ありました。そのため、英語力の向上という点では十分な成果はあげられませんでした。

ホストファミリーは優しく、生活に関するサポートも手厚く、そのおかげで3週間無事に過ごすことができました。また、私のホストファミリーは特に学校のアクティビティに積極的に、様々なアクティビティと一緒に参加してくれる温かい家庭でした。私の場合はプログラムに応募する際に記入した様々な希望条件(ペットの有無・通学時間・他の学生の有無 等)が叶う形になったため、そのような点でも過ごしやすい環境でした。

このプログラムは3週間のみであり、期間的にも内容的にも、英語力の向上を目的として参加するには物足りないものに思えるかもしれませんが、私にとってはカナダの文化やメキシコの文化を知り、また日本の文化についても改めて知ることによって文化交流という成果を挙げられたため、満足のできるプログラムでした。



サスカチュワン州議事堂